

圧倒的多数の国民がオリンピックの中止・延期論なのに強行するのですか？



Life Crossing

「乱れ打ちかわら版」あらため／季刊（創刊2001年）

2021年春・64号

信条・世に媚びず ・ 粹にとらわれず
・ 言いたいことはハッキリ言おう

発行／吉田 進

携帯 090-3168-1063

FAX 072-863-0605

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-26-10 FC204号

URL : <http://www.kawaraban.ne.jp/>

E-mail : info@kawaraban.ne.jp



世界的なアーティストの草間彌生さん。故郷の松本で、破天荒で美しくユーモア溢れるオブジェが、人々を驚かせ喜ばせた!!

CONTENTS

世の中・社会・文明・歴史・家族・自分のことを書いています。

ゴーストタウン化の大阪キタ ミナミ

「社会的弱者」直撃のコロナ戦。

その救済は政治・労組の義務 吉田 進 … 2

失業目前に起きた奇跡

「捨てる神あれば拾う神あり」 ベニヤン… 3

道は遠くても世界連邦を創るしかない 三田 栄考… 4

毛虫の命 馬場 正雄… 5

インドネシアの新型コロナウイルス事情

貴純(キスミ) ハル… 6

仮想通貨 株と異なる仕組みやリスク 大山 桜… 7

分断から共感の政治へ 衆議院議員 辻元 清美… 8

ダヌカさんの裁判闘争

入管に奪われた名前と自由 柏崎 正憲… 9

司馬遼太郎(下) - 街道を歩き続けた紀行家 -

市川 隼… 10

小説「相模」近々発刊のご案内 丸山 牧夫… 11

科学技術貧国日本 外山 晴一… 12

尊敬と感謝で生きて死んだ人たち 中田 恭子… 13

岩名雅記氏の日記② 闘病記(遺稿) …… 14/15

編集後記(余禄を兼ねて) …… 15

政治を志した原点 高野 勇斗… 16

ゴーストタウン化の大阪キタ ミナミ

「社会的弱者」直撃のコロナ戦。その救済は政治・労組の義務

天神橋筋商店街



日本一長い3.5キロにもシャッター店が

トンボリ（道頓堀）



人が消えたトンボリ



訪日客めあての薬局が乱立。まるで雑貨店



客引きも効なし



人気のクロッカの店には行列が



食いだおれの街は、今や子どもの遊び場にも

元日や行方も知れぬコロナカゼ
 コロナ戦争に明け暮れた年賀状には困った。「おめでとう」では始まらない。そこで宮沢賢治ばりに「雨ニモ風ニモマケズ、雪ニモ夏ノ暑サニモマケズ、コロナに勝とう」と書いたら、なんとコロナは

灼熱地獄にも酷寒マイナス70度でも平気な化物とか。
 世界のコロナ感染者は1億人を超え、死者は226万人超で、日本の感染者は40万人に迫り、死者は6000人超（2月初め）で、医療崩壊が始まった。自宅療養中

の死者は21人。
 一方、自殺者は急増し2万1000人を数え、中でも女性と小中高生が過去最多とか。また母子家庭では「水道代節約で公園の水道を利用」「子どもは2食、自分は1食でがまん」（毎日）と訴えて

いる。そんな悲劇を生み出す背景は、弱肉強食の格差社会である。
菅政権の人氣もトランプも落ちた
 米ハーバード大、マイケル・サnder教授は「トランプはコロナへの対応に失敗した。でも大統領選で7000万人を超える票を得た」「米国は能力主義の競争に勝ち「勝ち組」が傲慢になり、置き去りにされた人々に優しさのない社会になった。米国の労働者層は、伝統的に民主党支持だったが、共和党政権に変わり始めた。グローバル化で生じた社会の不平等に民主党が対応できなかつたから」という。他山の石である。
 連合は「企業ファースト、数だけ、カネだけ」の低落で「企業防衛隊」のモザイク集団と化した。そして強弱があつても企業の非正規労働者を承認してきた。その張本人が、今、コロナで首になった非正規労働者への相談窓口を開設するところから笑える。一方、前安倍政権と組んだ官製春闘。組合員の40%は自民支持というから笑えない。連合を頼りにする野党は「自民も野党もダメ」と棄権する選挙民が多いことを肝に命じてほしい。「コロナの長いトンネルを抜ければ、そこは社会的弱者にやさしい希望の国であった」という夢を正夢にしたい。（吉田進）

ウソのような本当の話

失業目前に起きた奇跡 「捨てる神あれば拾う神あり」

大阪市 ベニヤん



社長からのクリスマスケーキ

令和2年、全く想像もしていなかったコロナ禍に世界が襲われた。スーパーから日用品や食品が消え、日常が非日常に変わった年だ。緊急事態宣言の中、飲食店や中小の企業の倒産が相次ぎ、印刷会社に勤める夫を心配していたさ

なかの11月、社長が社員全員を集めて話があるという。かつてなかったことなので不安が走り、会社やめるんじゃない!? と2人で冗談にまぎらして、かろうじて笑ったことが3カ月前のことなのになつかしい。

いやな予感の中するもので、社長の口から出た言葉は65年続いた会社を廃業することだった。ああ、やっぱり……という思いと、意を決して1年前に35年ローンを組んで購入したマンションはどうなるのか、これからどうやって生活していけばいいのか、頭が真っ白になった。会社の社長が出来る限り再就職先を探してくれるとのこと

だったが、こうなるとう不安しかなかった。毎日、夫と何とかなるやると、お互いカラ元気で励ましあった。

関係会社が身柄引き受け

その後、本社の十数人の社員たちが少しずつ新しい職場での就業を始めていった。夫を含め3人が所属している第2工場のメンバーは行き先も決まらず、それぞれが不安を抱えながら、目の前の仕事を黙々とこなす毎日。そんな12月半ば、関係のあった印刷業の会社が夫の働く工場ごと3人を引き受けてくれる話が舞い込んだ。とりあえず良かったなあ!と喜んだものの、給与面、休日等、労働条件の何もかもが不透明のままの決定だったので、不安は拭えな

かった。そして数日後、夫たちは新しい会社に移行した。工場もメンバー3人もそのままだったので、職場環境に変化はなかった。

X'mas・正月のサプライズ

そしてクリスマス。会社の例年の方針らしく、社員全員にクリスマスケーキがプレゼントされた。毎年行われていたとかで、新しく入ったばかりの夫たちにも好きなケーキを選ぶよう声がかかった。さらに驚いたのは、チーズケーキを選んだ夫が持つて帰ってきたのが、まるまる大きなホールケーキ。上にはMer ry X'masのプレートとサンタクロースの小さな人形が。想像していたのがコンビニとかのケーキかな……? だったので、度肝を抜かれた。味も抜群においしかったのだが、それ以上にこんな大変な時代に一人ひとりの社員に粋な計らいをしてくれた会社に感動し、今まで食べたどんなクリスマスケーキより美味しく感じられた。

そしてコロナ禍の中、迎えたお正月。年賀状と無縁の私たち、元日から数日遅れで開けたポストに入っていた社長

からの年賀状にびっくり。丁寧到手書きで今年の干支、丑のイラストまで添えて……。

「〇〇君、昨年は大きな変化の年だったでしょうが、続けてくれてありがとうございます。今年はまだコロナ禍が続きますが、皆で力を合わせて安定した会社になるように頑張ります。寒いところご自愛ください」。読んだ瞬間に涙が出た。続けてくれてありがとうではなく、続けさせてくれてありがとうございます、と言いたいのはこちらの方だった。

人生捨てたもんじゃない

「捨てる神あれば、拾う神あり」という言葉がストンと胸に落ちた。社員みんなに手書きの年賀状を送っておられるそう。昨年末から不安しかなかったが、こんな人がトップなのだから、「何とかなる」と笑って言えるようになった。「地獄で仏にあらう」とはこういうことなのだろう。今、困難な状況にある方はつらい日々を送っておられることだろう。でも折れないで生きてください。やがて暗雲がはらわれる明日が来ることを信じて……。

道は遠くても

世界連邦を創るしかない

東京 三田 栄考

ユダヤ系ポーランド生まれの28歳のザメンホフが1887年に 에스ペラント語を開発



ザメンホフ氏

した。世界共通語は、世界の民族が理解しあうために、戦争を避けるために、そして世界が一つになるためであった。が、その広がりには遅々として進まない。今では 에스ペラント語と言っても知らない人が多いのが哀しい。紙幣もドルが世界を席巻しているかのようだ。EUのユーロ貨幣が普及し国際通貨の一助になればと期待したが、英国が自国通貨のポンドにこだわり続けただけでなくEUから離脱

したのは時代に逆行している。3度目の世界大戦を避けるために欧州経済共同体からEUへ、更に東欧まで広げた努力を阻害する行為だ。

私は究極的には世界連邦を目指さない限りは国家間の争いは、対立はなくならないと思う。国がある限り、国益と言って

いる間は戦争の危険は常に存在する。ある人は核の抑止力によって平和を守られると主張する。私はそれも否定しない。現在は各国の利害が鋭く対立しているから武力を背景として力の均衡に頼るのも分かる。しかし、抑止力なら永遠に抑止による平和が保たれると思うのだろうか？

確かに数十年、もしかしたら100年間も核の恐怖故に、戦争を仕掛ける、攻撃さ

れるのを避けるため戦争を自制するかもしれない。しかし、それが永遠に続くことはない。永遠に力の均衡による平和はあり得ない。いつかは破綻して全面戦争か、恒久平和にたどり着けるかだ。

ジャパネット高田創業社長・高田明氏曰く

氏は核兵器廃絶平和運動家でもあるが、貴方の理想とす



ステルス多機能型護衛艦「くまの」 昨年11月進水 就航は来年3月

る社会像は？ と聞かれて「笑われるかも知れませんが国境のない世界」と答えている。言うまでもなくそれは世界連邦をも意味する。国境がある限り紛争・戦争の種は

尽きない。

「月から地球をみると万里の長城が見える」と、中国人ガイドはピラミッドと堺の仁徳天皇陵の3つの巨大建造物を挙げた。日本人観光客が怪訝な顔をした瞬間「冗談ですよ」と続けたので一同大笑い。長城が幾ら巨大で長くても月からは見えない。同時にガイドは「その昔、有効な防衛施設も今では観光用だけで軍事的に全く意味がなくなってしまった」と。

兵器の進歩は軍事力を無力化する。それも近世ほど進歩が早いから兵器もどんどん時代遅れとなる。無人機やサイバー攻撃、更に宇宙からの攻撃など次々に防ぎようもない兵器が出現するだろう。本格的な全面戦争は人類の破滅に繋がる。国がある限り果てしない戦争の脅威は続き拡大する。こんな緊張した状態で100年も抑止力で平和のバランスが保てるだろうか。誤謬による、判断ミスによる、偶発戦争が起これないと思うのは楽観的過ぎはしないか。自国ファーストより恒久平和を優先しないことには取り返しがつかないことになる。プー

チンがクリミヤ半島を編入する際に核兵器の使用をも考えたとテレビで堂々と話している。日本の平和勢力と称する人々はこれに抗議したりロシア大使館にデモをしたとは聞かない。トランプも北朝鮮の核に対して核使用を研究したという。小型の使用できる核兵器——などとふざけた理論が横行する。

軍事にアレルギーを民主主義にエールを

読売新聞系日本テレビに自衛官たる軍人のトップ河野克俊元統合幕僚長が日本テレビ客員解説委員の肩書で、ニュースのコメンテーターに連日登場したのには驚いた。戦前、軍部が大きな顔をしてきたことがよぎった。職業自衛官は軍事の増強を強調する立場だ。日本国は平和外交を基調とし軍事を最小限としたはずなのに。原爆の被害者、戦争の体験者の伝承だけに頼るのはいけない。近代戦争に符合する反戦運動を、脱イデオロギー時代に適応した民主化運動を、世界の動きに即応できる運動体ができないものかと私は願う。

エスペラント語：ザメンホフは世界中のあらゆる人が簡単に学ぶことができ、世界中ですでに使われている母語に成り代わるというよりは、むしろすべての人の第2言語としての国際補助語を目指してこの言語を作った。エスペランティスト（世界で約100万人）による世界大会も毎年開かれている。

毛虫の命

大阪市中央区

馬場 正雄



界からでも頭角を現して群を抜いて能力を持つに至った。動物は食育することとSEXという生存本能しかないが、人間は他にさまざまな欲求を持つに至った。

それを文明というが、人類の歴史で340万年ほどは他の動物と大差のない生活だったはずだ。火くらはいは灯せただろうが、井戸はまだなかったろう。衣服らしいものも履物もなかったから、代わりに野生動物並みの自然への対応力を持っていただろう。340

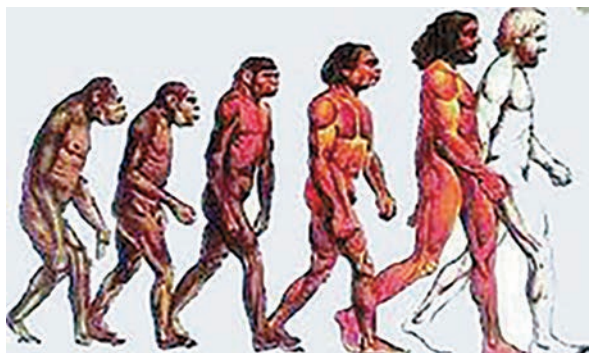
もし、あなたが毛虫と対話できて「おい、君は俺の命と君の命がどちらが大事と思うか？」と尋ねたら彼は「何言うのか！毛虫の僕の命の方が大事に決まっているじゃないか！」と答えるだろう。命……そう、人の命は大切だ。でも毛虫にとって毛虫の命は尊いはずだ。私は人間だけでなく全ての生命は対等に尊重されるべきだと思う。ただ、少し頭脳が優秀だった人類は地球上に誕生して350万年だそうだが、その間、自らの努力と獲得遺伝とやらで動物

の文化生活が当然のこととして慣れ切ってしまった、有難さや感謝の気持ちなんぞ持ち合わせていない。まるで大昔からかなり便利な暮らしをしていたと勘違いしている。しかも人間に都合の良い神なるものを勝手に創造して人間は特別な存在だと捏造し思いこませてしまった。

これまであなたはどれほどの命を奪ってきたのか？

「神様は他の動植物をして人間に奉仕する生き物である」などと無茶苦茶な理論を編み出した人間。人間とはなんて勝手な動物なのだろうか。どこまで増長するのか、トンカツ店の看板は豚の楽しそうな絵看板が見られる。おかしいでしょ？食べられる口惜しさ、哀しさを表わす漫画を描くべきですよ。それどころか魚釣りなどと称して命を奪うのを趣味にしている輩もいる。もし、釣られて海面に出る魚が断末魔の苦しい表情で釣り人をにらんで上がってきたら、幾ら傲慢な人間も魚釣りをやめるだろう。ぴちぴち跳ねる魚を「活きが良

い」などと喜ぶ。違うでしょう。断末魔の苦しさですよ。鶏卵は物価の優等生だそう。かつては病気になるって滋養を付けるときにしか食べられなかったのが、ワンパツク300円の格安だから毎日食べられる。かつては庭で自由に走りまわった鶏は今は何段もある鶏舎で、卵を産み落とす機械の歯車と化した。何十羽と並び狭い一羽のスペースで毎日せつせと餌を食べるだけの鶏の生涯は彼らにとって何の楽しみが、意味があるのだろうか。勿論、人間に奉仕



している意識は毛頭ない。もっと運が悪いと仲間から鳥

インフルエンザ菌が見つかるものなら一網打尽に一羽残らず穴埋めにされる。人間は卑怯だ。テレビなどで牛舎や養殖場などは写すが、精々魚をさばく場面は出て家畜が殺される場面は紹介されない。都合の良いことに人間は雑食動物です。人間と共に生活する犬や猫のようなペットは家畜となる以前は明らかに肉食性であったが、人間と共に生活するようになって雑食になった。牛などは勿論草食動物だが、商品価値を高めるための都合や成長促進のため肉骨粉などを食べさせられて次第に雑食になる（彼らは肉と認識して食べていないが）。イスラム教徒が食べてはいけない食材を含まないハラル食品が我々の身近に見られるようになった。肉食を避けるベジタリアンも時々お目にかかる。そうそう、仏教は本来殺生を禁じ、魚・肉を食することを禁じ精進料理を勧めていたはずだ。これらはまだ世界的な運動になっていないが、ある動物学者はいずれ人類は動物を食べなくなる時代が来ると予測する。それはいつの日か？

インドネシアの 新型コロナウイルス事情

貴純（キスミ）ハル

世界第4位の人口（2億6000万人）、最大のイスラム教大国でもあるインドネシアで30年間働いてきた私は、昨年のコロナ禍で帰国を余儀なくされた。現在インドネシアは東南アジア最悪のコロナ感染者数を日々更新しており、現在の総感染者数（2月1日現在）は107万3841人、回復者数87万3221人、死者数2万9998人に達している。

実は昨年2月頃は近隣のシンガポールやマレーシア、タイなどで新規感染が報告されているにも関わらず、感染者数ゼロが続いていた。「これはおかしい」と世界中の研究者が疑問を呈しても、インドネシア政府の反論は「インドネシアは常夏なのでウイルスが繁殖しにくい」「病原菌の類はわんさかあるのでいままら新しいウイルスが来ても抗体ができていいる」など科学的

根拠の乏しいものばかりで、有識者や外国人は「絶対おかしい」と疑っていた。疑いの根拠はある。インドネシアでは中国の「一带一路構想」により「夥しい数の中国人が派遣され労働している」からで、

それなのに「新規感染者数がゼロなんてありえない」そして新規感染者第1号のニュースが発表されたのは昨年の3月2日。「感染者は女性の親



街中に設置された消毒液の機械

子二人（64歳と31歳）で、マレーシアから来イ中の日本人女性（41歳）から感染」と発表された。このニュースが発表されるや否や、特に在留邦



オムニバス法案（賃金の上昇率を物価上昇率に併する法案＝成立）に反対する労働者のデモ

人の多いジャカルタ地区では有らぬ疑いをかけられた日本人も多く、某日系企業では現地スタッフから「日本人とインドネシア人の社員食堂を別にしてほしい」と要望された話もあるほどだ。ところが詳細がわかるにつれ、そのニュースに数々の矛盾・出鱈目が浮かび、果たして「本当に感染源は日本人なのか」が疑問視された。

しかし真実が明らかにされないまま新規感染者数はあれよあれよと増加する。いまだは大方の推論として「新型コロナウイルスはとうに広

まっていた。政府は発表のタイミングを待っていた。中国側から「中国（特に武漢から）『来イ中の中国人に感染源の疑いがあるとは発表しないでほしいと言われた』か、あるいは付度したに違いない」。さて他国に遅れながらも、ようやくインドネシアは昨年3月末頃から外国人の入国禁止・感染者の多い外国への渡航禁止などの対策を執り、自国の感染者数の増加が顕著になる4月にはとうとうPSBB（大規模社会制限措置）緊急非常事態宣言にあたる）を発令する。よって経済は停滞り、数多くの企業が縮小・閉鎖を余儀なくされ、あつという間に失業者の山が築かれた。この辺りの事情はおそらく多くの国々で共通でもあり、インドネシア事情をご存じでない方も想像に難くないと思われる。

インドネシアには 何の補償もない

しかし一般の日本人には信じられない事実がひとつある。「インドネシアには何の補償もない」のだ。たとえ

ば、この緊急非常事態宣言でレストランの営業が2カ月禁止になった。この間レストランへの補償、従業員に対する補償はゼロである。レストランだけではない。すべての業種に対して何の補償もない。日本のように、国民1人あたり一律給付金10万円、給与一部補助、持続化給付金、緊急小口融資、家賃補助、その他一切ないと言っている。よって街中には失業者が溢れ、当然ながら犯罪率も悪化の一途を辿っている。インドネシア政府はPSBBの厳粛化で厳しい政策を執っている。また2021年初頭、ジョコウィド・インドネシア大統領が自ら第1号となりワクチン接種（中国シノバック製）の見本を示し、国民の不安を払拭しようとして躍りになっている。しかし一向に社会が安定する気配はない。先進国日本とインドネシアを比較することはさして意味はなからう。ただ日本・インドネシアの両国事情を知る邦人にとっては「日本はいい国だ」と認めざるを得ないほど、インドネシアの社会は逼迫しているのだ。

本誌の今号の裏表紙に寄稿された高野勇斗さんもインドネシアで仕事の経験がある。奇遇にも高野氏も貴純氏（ペンネームで本名は別）を知っていて「ジャカルタの駐在員で彼のことを知らないものはいない」ほど現地の有名人だそうです。

仮想通貨 株と異なる仕組みやリスク

千葉県 大山 桜



最近ニュースでもビットコインという単語をよく聞くと
思います。若者の間でもよく
聞くビットコイン。ただ、本
質を理解している人はどれだ
けいるのでしょうか。今日は
よく聞くけど、よくわからな
いビットコインについて少し
書きたいと思います。

まず、ビットコインとは、
インターネット上で使用でき
る暗号資産（仮想通貨）の一
つです。円やドルのように硬
貨や紙幣がある法定通貨では
なく、電子データによる決済
機能を備えた新しい決済手段
で、インターネットを経由し
て遠く離れた国にも容易に送
金することができるといって
ります。ただ、認識では為替

取引のような形で利益をとる
と考えていいと思います。日
本では2017年4月に「資
金決済に関する法律」が改
正、施行され、暗号資産（仮
想通貨）は法定通貨ではな
く、決済手段の一つと定義さ
れました。円などの違いは
仮想通貨なので手元に置いて
おくことができません。ま
た、仮想通貨には中央銀行が
存在しないので、当たり前で
すけど政府の保証等もつきま
せん。ですがビットコインは
直近の高値で440万円ほど
まで値上がりしています。で
はなぜそこまでよくわからな
いところにお金が集まるので
しょうか。その理由の一つは
今から紹介する分散管理の仕
組みがあります。

値段を決めるのは その場の需要と供給

従来の金融システムは中央
集権的です。例えば、銀行で
あれば現金は大金庫に収めら
れ、顧客の預金情報はセキュ
リティをかけたサーバーに保
存されます。もしも天才的な
泥棒やハッカーが現れて、大
金庫が破られたり、預金情報
が改ざんされたりしたら、ど
うすることもできません。実
際にはそこまで単純ではあり
ませんが、現金でも情報で
も、それを保管している場所
やシステムが破壊されれば、
再起不能に陥ることもありま
す。

ですが仮想通貨の場合、現
金は存在しませんので大金庫
を設備する必要ありません。
売買取引の情報や、誰がどれ
ほどの仮想通貨を持っている
かという情報も、ネットワー
クに接続された不特定多数の
端末に分散して記録され、共
有されています。その一部を
改ざんしても、ほかの端末に
記録された情報と照合すれ
ば、データを書き換えたこと
がすぐにわかります。ですの
で、仮想通貨のデータを不正
に改ざんしようとするとは、
ネットに接続されている膨大
な数の端末に侵入し、すべて
のデータを書き換えなくては
なりません。それが現実的で
はないことは明らかでしょ
う。仮想通貨はこうした仕組
みの上に構築されているため
に、非常に高い信頼性を実現
しているのです。

ではなぜ、儲かるのか、
ビットコインの値段を決めて
いるのは単純な需要と供給で
すので、欲しい人が多くて買
う人がいるから値段が上が
る。それなので安く買って高
く売れば自然と儲かるわけ
です。ただ、注意したいのは株
と違ってビットコインには
参考とするものがありませ
ん。株であれば決算、業績、
ニュースなどで株価が左右さ
れますが、ビットコインには
何もありません。そのため、その場
の需給で値段が何倍にもなる
ことがあればその逆もあると
いうわけです。そのため、投
資をする際にはきちんとその
リスク・仕組みを理解したう
えで投資をすることをお勧め
します。また、ビットコイン
には様々な種類のアウトコイ
ンと呼ばれるものがあり、分
散投資も可能です。

ただ、このようなネット社
会の中で仮想通貨の利便性が
再評価されていることも事実
です。数年後にはコンビニな
どでビットコインで支払うよ
うなこともあるかも…給料が
ビットコイン支給とか…そう
なるとモノの価値ってだれが
決めるのか…。すごく不思議
な感じな世界になっていくん
じゃないでしょうか。

分断から共感の政治へ

立憲民主党副代表 辻元 清美

いま、この国の民主主義は危機に瀕しています。三権が分立し、お互いに緊張関係を持つことが民主主義の基本的なルールです。しかし2012年末に安倍政権が発足して以降、立法府の意図的な無力



2020年11月4日 予算委員会での質疑

化とも呼ぶべき状況が進み、行政、とりわけ官邸の権力が肥大化しました。菅義偉首相もそれを引き継いでいます。なぜ、こうしたことが起き

るのか。一つは選挙制度の問題です。衆院に小選挙区が導入され、政権交代が起きやすくなる一方で、圧倒的多数派をつくりやすくなりました。与党の執行部に公認権が集中し、ゆがんだリーダー集団が権力を握ると、同じ体質の人ばかりが増えてしま

う。異論を言いがらいい雰囲気になっていくのです。もう一つは、経済のグローバル化が進み、格差が拡大したこと。社会が二極化し、一部のもうかる人たちが新自由主義的で弱肉強食的な政策を容認し、弱い人たちは自己責任論を押しつけられている。身の回りのことで精いっぱいになって、国会に関しても「野党は批判ばかり」といって批判を回避するような風潮が、若い人を中心に広がっています。しかし、それは民主主義を履き違えているのでは。立法府、

特に野党には行政監視機能が求められています。権力をチェックする人がいないと民主主義は壊れます。

大阪では大阪維新の会がコロナ禍にも関わらず「大阪市廃止住民投票」を強行しました。賛否が拮抗し、住民の間に大きな分断が生まれまし

た。制度をいじればバラ色の未来があるなら他の大都市がなぜそれをしないのか。実際、他の大都市ではさらに政令指定都市の権限を強めるべきという議論が高まっています。そして維新はまだカジノを誘致すると言っています。

予算委員会筆頭理事として

私がやりたいのは共感の政治。リーダーが「こつちに從え」と言うのではなく、全面的に賛成できなくても、この辺で仕方ないかと全体的に納得できることが大事。そうした共感と納得の政治を目指したい。

も仕事です。予算委員会の現場では閣僚がおかしな答弁をしたり、委員長が不公正な進行をしたら「ちょっと待った！」と委員長席に詰め寄り、やり直させるのも役割なので、一瞬も気が抜けません。反射神経の勝負です。

国対委員長時代と異なり、筆頭理事は質問も行います。質問が近づく事務所は「質問製作工房」となり、資料収集などでバタバタです。前日は深夜まで事務所にこもって、ああだこうだとシミュレーションを繰り返します。そこまで準備して臨んでも、大きな事件が起きれば質問変更を迫られるし、前の質問者のやりとりを聞いて質問をその場で組み立てなおすこともよくあります。

とくに総理大臣との質疑はライブです。注目度も高いし、何より国民の代表として総理に直接質問できるのはここに座っている数人しかいないのだから、気を抜いた質問はできません。

1月26日補正予算の私の質疑で、菅総理が必要な医療が提供できていないことについて認め、海外メディアも速報

しました。

菅総理の肝いり政策・看護師支援も進んでいません。菅総理は「清掃等を専門業者にお願いして負荷を減らす」と言いましたが、1か月以上たつても請負成立は3件。

東京オリパラでは驚くべき事実が発覚。東京五輪開催時の医師・看護師等の動員数は1万人と大臣が答弁。コロナ対応、ワクチン対応をしながらどうやってこの人数を確保するのか。総理自ら「必要な医療体制が提供できてない」と認めたばかりなのに。

少なくとも、1万人が確保できなければフルサイズでの東京五輪はやれないと明かしたに等しいと思います。

最後に入院を拒否した方などに刑事罰をつける感染症法の改正に反対しました。感染者差別や、監視社会化が進む恐れもあります。感染者に寄り添ってきた保健所の方々の、感染者を告発する立場、犯罪者にする立場に立たせるわけにはいきません。野党の指摘で、法案からは刑事罰がなくなりまし

ダヌカさんの裁判闘争

入管に奪われた

名前と自由

ダヌカさんを支援する会 柏崎 正憲

在留も出国もできない外国人

「私はダヌカです。他の誰でもありません。真実を認めてください」。2020年2月25日、切実な訴えが、東京地裁の法廷に響いた。裁判官の前で意見陳述した男性は、スリランカ国籍のダヌカさん。彼は入管に、チャミンダという別人の名で扱われている。他ならぬスリランカ政府が、彼の身元はダヌカだと保証しているにもかかわらず、



支援集会でのダヌカさん

である。

別人扱いのせいで、ダヌカさんは文字どおりの無権利状態に追いやられている。入管は彼に、チャミンダの名で送還の命令を発している。だが、スリランカ政府が彼に別人名のパスポートを発行することはありえないので、この送還命令は執行できない。それなのに、入管は彼の別人扱いを改めず、合計3年以上も長期間、彼を入管収容施設に拘束してきた（現在は仮放免の状態で千葉県に在住）。

一人の入管法違反と

行政の文書偽造と

どちらのほうか罪深いか

ダヌカさんの初来日は19

98年。財界有力者の父親に反発していた彼は、海外に渡ることにした。未成年だったため、彼に日本行きを勧めたブローカーに、チャミンダ名義の偽造パスポートを渡された。無事入国すると、2008年に送還されるまで、彼はチャミンダとして日本で働いた。

再来日は2010年11月。商談のための短期訪問のつもりだった。彼は和解した父に支援され、会社を経営していたところ、山本という日本人に商談を持ちかけられた。山本はダヌカさんを巧みに誘導し、来日させたうえで、彼を軟禁、金を脅し取ろうとした。ダヌカさんが脅迫に屈しないことを悟ると、山本らはダヌカさんを入管に引き渡した。

の調書をでっちあげた。そのうえで彼を刑事告訴し、2年間の懲役後には、彼をチャミンダとして日本から追放しようとしたのである。

恐らく入管は、かつて発見し損ねたダヌカさんのパスポート偽造を、今回立件しようと考えたのだろう。しかし今回は、彼は正しい身元で入国した。むしろ入管が事実を歪め、調書を「偽造」したのである。一個人の文書偽造と行政の文書偽造、どちらが罪深だろうか。

スリランカでのダヌカさんの人生すら、入管は台無しにした。彼は日本で拘束されていた間に、会社が受注した政府事業の資金を持ち逃げしたと見なされてしまった。そのせいで失脚した元関係が、ダヌカさんを報復の標的にしている。スリランカでは、私兵を擁する有力者に狙われた者に、身の安全の保障はない。ダヌカさんは難民にされてしまった。

ダヌカさんの闘いは控訴審へ

この出口のない状況を打破するには、行政訴訟しかない。

だが、ダヌカさんが意見陳述した同じ日、東京地裁は、ダヌカさん側による証拠の提示等が尽くされていないのに裁判を打ち切り、そして2020年7月3日には原告敗訴の不当判決を下した。彼の正しい身元がチャミンダであれダヌカであれ、入管の送還命令の法的効力には影響しない、つまりダヌカさんの身元はどうでもいいという、とうてい納得できない理由によって。

もちろんダヌカさんは控訴した。入管が別人名による送還命令を撤回しないことは、日本国憲法にも入管の法令にも違反しているというのが趣旨だ。控訴審はコロナ禍で先延ばしになったが、そのあいだに彼はダヌカの名で運転免許証を取得し、改めて入管の別人扱いのおかしさを浮き彫りにした。

いよいよ今年3月3日11時、東京高裁817法廷で、控訴審の口頭弁論が開かれる。当団体はウェブサイト(<https://dhanuka2019.exblog.jp>)で、裁判傍聴をはじめとする支援活動への協力を呼びかけているので、ぜひご参照いただきたい。

司馬遼太郎(下)

—街道を歩き続けた紀行家—

鎌倉市 市川 隼

司馬遼太郎の作品の中で、1050万部以上が販売され、第4位にランクされている作品が、『街道をゆく』である。若き日に歩いた道、小説の題材にした地、或は、夢に描きながら初めて足を踏み入れた街等、約80カ所の街道を歩いた。韓国、モンゴル、中国、台湾、南蛮、愛蘭土（アイルランド）、オランダ、ニューヨーク等、14地域の海外へも出掛け、その土地の、歴史、人々の生活、育まれた豊かな文化について、想いを巡らせ、読者に向かって語り続けた。第1回目は71年1月から掲載された『湖西のみち』で、「あわあわとした国名を口ずさむだけでも、私には



街道をゆく・紀行



司馬遼太郎（週刊朝日MOOK）

詩がはじまっているほど、この国が好きである」という近江を取り上げ、未完だった『濃尾参州記』が掲載中の96年2月12日に、司馬は帰らざる人となって、25年継続した

『街道をゆく』が閉じられた。『街道をゆく』の2巻目と5巻目に、『韓（から）のくに紀行』と『モンゴル紀行』が書かれているが、司馬の軽く綴った挿話の中に、重い話が隠されているようだ。司馬は、朝鮮半島出身の多くの友人が多く、日本と朝鮮の関りを深く考えてきた作家だが、韓国へ行く為の手続きの代行を頼んだ若い韓国女性から、「何のために出掛けるのですか」と尋ねられ、何気なく、「古い時代、朝鮮も日本も互いに同じ地域であり、その様な雰囲気は韓国の農村に行つて味わってみたい」と答える。と、「へーごうへいVしようとおっしゃるんですか」と、悪名高き日韓併合の話の本気で持ち出され、当惑させられる話が2巻目で紹介されている。5巻目は、夢を馳せたモンゴルに、蒙古語の師を誘つて勇躍して出掛け、先輩や戦友にも会う話だが、ハバロフスク経由となり、黒竜江を眺めながら、重装備のソ連戦車と比較して、戦力にならないような薄い鉄板の戦車が与えられ、戦車手であった司馬が、敵弾によって挽肉のよう

に挽き千切られて死んでいく姿が不思議でなかった戦時中の様子が、語られている。日本の近代化に影響を与えた西欧に関心が強い司馬は、南蛮・愛蘭土・オランダに出掛けるが、22-23巻の『南蛮のみちⅠ・Ⅱ』では、ザヴィエルが若かりし頃学んだ、パリのカルチェ・ラタンの聖バルブ学院を訪れ、その後、ザヴィエルの生誕の地で、学生時代から興味を抱いてバスクのザヴィエル城を訪れる様子が纏められている。ザヴィエル城に着いたのが秋の日の午後6時20分で、「雑木林の向うの丘に、出遭いがしらに、ザヴィエル城が出現したのである。暗い森のこずえのむれの上に、真っ赤に夕陽をあびて、ほとんど金色に化（な）った城頭がぬつとのぞいた」と感動的に記し、出迎えて案内してくれた老修道士に名前を尋ねた処、「オバケになんています。オバケに名はない」と応える修道士を、ユーモラスに描いている。35巻目の『オランダ紀行』では、鎖国時代、「日本の社会を一個の暗箱とすれば、針でつづいたような穴がいわば長崎であ

り、外光がかすかに射し込んでいて、それがオランダだった」と記し、微かな光が、日本にとって大きな光であり、その光の担い手であったアダムスやシーボルト、更には、明治の時代に、土木工学に手を差し伸べてくれたヨハニス・デ・レーケについて時間を割いて語っている。更に、日本のバブルで土地が異常に高騰し、怒りを感じていた司馬が、ライデンの街を歩き乍ら、「オランダ人は海にダムを築く事によって、国土をつくつたが、街路の角石（ブロック）まで外国から買ったのである。この国では、国土が私物でなく、みんなで所有すべきものとなっているのは、当然といていい」と記し、日本と異なり、土地の公共性の意識が強いオランダの文化について触れている。日本の中も、北海道から沖縄までくまなく歩き続けたが、敗戦を迎えた佐野のある北関東を最後の地にしようと考えながら、足を踏み入れる事が無く、『街道をゆく』の幕を閉じざるを得なかったのが、司馬の心残りだったかも知れない。

小説「相模」近々発刊のご案内

東京 丸山 牧夫

1000年前、時代の先端を行く歌集が編まれた。「相模集」だ。作者は相模、編者は不明だ。相模が仕えた脩子内親王ではないかと推測するが詳細はよく分からない。相模は百人一首に登場し、夫の大江公資と共に相模の国に現在の神奈川県に行き歌を作ったことで知られる。生没年は分からないが、西暦990年頃から1050年頃に活躍したらしい。相模は平安時代に活躍した女流歌人で当時相当に有名だった。現代に置き直すと安室奈美恵や宇多田ヒカルだろうか？それとも明治から昭和に活躍した樋口一葉や与謝野晶子に似ているのだろうか？

相模が亡くなって200年

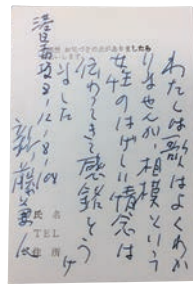


「普賢と相模」

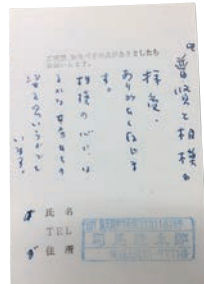
近く経った1230年頃、鎌倉時代の歌人、藤原定家が散逸した相模集を整えた。そのお陰で現在に伝わったと考えられる。さらに江戸時代の国学者、塙保己一が多くの書を集め分類した。有名な「群書類従」だ。相模の歌が現在に伝わったのはこの2人に負うところが多い。藤原定家は紫式部の書いた「源氏物語」を編纂した。80歳まで仕事を続けたと言われる。塙保己一は失明のハンディを乗り越えて資料を編纂し76歳で亡くなる。相模は60歳を越えて生き残った。古今の歴史家、芸術家は意外なほど長命だ。

私たちが使う漢字は古く唐から伝えられた。仮名文字は日本で漢字を借りて作られた。平安時代、漢字は男文字、仮名は女文字とされ、仮名は一段と低く見られていた。紀貫之は土佐日記の書き出しで「男もすなる日記というものを女もしてみむとてす

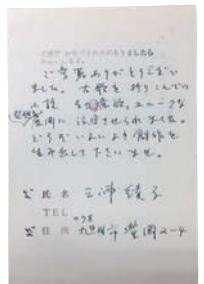
1990年、3人の方から「普賢と相模」への感想をいただきました。



故新藤兼人氏
(映画監督・脚本家)



故司馬遼太郎氏
(小説家)



故三浦綾子氏
(小説家)

るなり」と書いたのは有名な話だ。女文字の方が文章を表現するのに便利だった。この仮名文字のおかげで多くの文章が伝わったのだから、女文字と言われた仮名に感謝しなくてはならない。また積極的

に仮名で歌を作った多くの歌人たちに文学の楽しみを教えてもらい感謝している。

紫式部の書いた源氏物語、清少納言の著した枕草子は平安時代を代表する文学だ。一方、物語でもエッセイでもない本格的な和歌集である「相模集」は勅撰の和歌集の影に

あつて1000年の間、光の当たることがなかった。この歌集を読むと平安時代の女性と信仰、男性の価値観、生活と娯楽、結婚と離婚、年中行事と歌合、東国相模の自然観など様々なことが伝わってくる。一つの歌集が多くの側面を持ち深い内容を備えるのは、高い芸術性としつかりとした編纂技術があったからだと考える。

作者、相模は多くの人と恋愛し離別、死別を経験する。子を育てたいと願いながら叶わない。人と深い交流を望みながら出来ない。男たちは官職や権威を求めて生きていく。相模は東国相模の生活を通して自然の中で自分を深く見つめる。仏教に目覚め、普賢菩薩を信仰する。藤原道長と息子藤原頼通の隆盛の時代に摂関家に抗った生き方をする。多くの男性歌人と

は違った生き方を選ぶ。そのせいか男女の仲は上手く進まない。しかし心を澄ませて「侘歌」を作ろうとする。

歌は恋人との愛憎を伝えるが、その嘆きとは別に低い響きがずっと流れている。現世から浄土に憧れる深く澄んだ

響きだ。近づいてくる男の人からは離れていく。やがて相模の理解者は自身が教育を受けた脩子内親王だと分かる。内親王は相模を庇護し歌集を編むことを勧める。相模は内親王のそばにいて和歌を作る。約600首の歌が出来る。相模の才能をいち早く認めた内親王の父、一条帝への敬意をこめた歌を他人に分かれないように歌集に入れる。

恰も清少納言が枕草子の中で他人に気がつかれないようにして相模と脩子内親王の遊ぶ姿を記したように。

歴史の中に埋もれてきた歴史秘話をあなたもお読みになりますか？ 自由を求め勇気を奮って時代の風と戦った相模。あなたは1000年を超えてやってきた歌人相模の精神に触れたいと考えませんか？ この告知を読んで少しでも心に響いた方は1000年前の歌人に一歩近づいたのかもしれない。読めばきっと平安時代の女性相模が好きになるでしょう。関心の湧いた方はどうぞクロッシングにお問い合わせください。

原稿はほぼ完成し4月早々に本を発売する予定です。

小説『相模』は、1990年に木精書房から刊行した『普賢と相模』（丸山牧夫著）を30年ぶりに改訂したものです。『相模』の問い合わせ申し込みは当誌まで税込3000円（送料込み・振込手数料はお客様負担）。電子書籍の場合は、税込2000円。

科学技術貧国日本

新潟県三条市 外山 晴一



ワクチンを 自国生産できない 日本

こんな時、日本に契約通りにワクチンを回してもらえないのでしょうか？自国民優先との世論が両国に起きないか不安です。WHO（世界保健

新型コロナウイルスが世界中に蔓延しています。ワクチンの接種が待たれており、日本では2月末とか3月からと言われています。日本が待っているのはアメリカやイギリスで作られたものです。日本の日々の感染者数が5千人を超えたところ、イギリスでは5万人を超えており、アメリカでは25万人位と日本を一桁も二桁も上回るはるかに多くの感染者が出ていて、その勢いは全く止まっています。

機関）は日本のような豊かな国がワクチンを買ひ漁っており、貧困国に回らないとクレームをつけています。米英その他、ロシア、インドもワクチンを自国で生産しています。これらの国々は競って、無償輸出もしており、ワクチン外交と言われています。

判されているのは恥ずかしい限りです。なぜ日本はこのような体たらくの国になり下がったのでしょうか？

構造改革は大学にも

それは第一に日本に学問や研究の重要性を理解している政治家がほとんどいないからです。極め付きは小泉内閣が「聖域なき構造改革」の旗をかかげて行った政策です。これは「官から民へ」のスローガンのもとで行われ、郵政民営化が代表的で有名です。郵便だけでなく、道路公団や政府系金融機関など政府のサービスや国立大学までも民営化を行い、政府の支出を少なくしようというものです。小さな政府を作るとの掛け声のもとで国民の暮らしに必要な予算まで削られました。医療や教育も含め、社会のあらゆる分野に競争の原理を取り入れ

て構造改革を行い、効率化を図るといふ新自由主義経済論の考え方から出ている政策です。

大学については「国立大学法人化」が2003年に行われました。競争の原理と効率化という考えが大学に持ち込まれ、政府からの運営費交付金が毎年1%ずつ減らされました。その結果、常勤職員が減少し、任期制の臨時職員が増えました。成果が早く出にくい基礎研究が減り、論文数は減りました。博士課程を終了しても正規雇用につける人は6%という低さになりました。日本の場合は企業も博士の採用には積極的でありません。基礎研究にお金をかける企業が少なくということですね。欧米や中国の企業は社内の博士数を誇り、応用研究もさることながら、基礎研究にも熱心な会社が多いです。日

本では、博士になっても正規職員として就職できなくなりました。これでは博士課程に進む人が少なくなります。

学問や研究への政治家の無知

その結果、2000年には自然科学系の論文数で日本はアメリカに次ぎ世界2位でしたが、2018年では中国がトップで日本はアメリカ、ドイツに次いで4位になりました。中国は急速に伸びています。日本は急落しています。同年の研究費では1位はアメリカで61兆円、2位は中国で58兆円に対し、日本は18兆円です。

菅内閣になって政府は日本学術会議の人事に介入しました。世論の指弾を浴びると河野行政改革担当大臣が出てきて、国庫負担で運営している日本学術会議も行革の対象とすると脅す始末です。日本の学問や研究に対する政治家の無知、無理解がパンデミックといった緊急非常時に当たって国民の命と暮らしを守れなくしています。

（筆者は金物製造販売会社の会長）

尊敬と感謝で

生きて死んだ人たち



人生の修行を終えた穏やかなおばあさん。これから世の中に出ていく3つの小さな魂が寄り添っている。修行の地に降りる小さな魂たちを心配もしながら、いとおしみながら

捨てられたと思えば、なんて事はない。私は父の両親、母方のひいおばあさんが同居する中で育った。103歳まで生きたひいおばあさんは幼い私に「長く生きたらわかるけど、人は生まれつき同じ数の荷物を背負わされて生まれてくるのよ」って話した。「一つ、一つ、荷を下ろして行って荷を下ろし終わると天の神様が一番いいところに連れて行っていいお席をくださるのよ」って言った。「辛い時、苦しい時に「もう嫌だ」と人生を儚^{はな}んではダメよ。嫌な事はいつか終わる。そしたら大きな荷を下ろせた、と喜びな

い。ご先祖様はいつもそばにいて、乗り越えられるように力を貸してくださっているからね」と挫けそうになって泣いてしまう私の背中を優しく撫でながら悟りの仏様のような手で何度もさすってくれた。まだ未熟で何のことか分からないが、ひいおばあさんは、あきらめず、同じことを言っていてくれたおかげで65歳をすぎてしまった今になってもひいおばあさんの言葉に支えられて楽に生きられていると思う。いつも前向きに明るく生きていると希望が生まれるので、私は悪い事があつたり残念なことがあつたりするたびにひいおばあさんの深い言葉を思い出す。年をとっていくと、できていたことができなくなったり、当然のようにいろんなことを忘れたり、気配りがおろそかになったり、あるいは気配りどころか人に迷惑かけることもたくさん出てくる。

それをいちいち残念に思っていたら全く希望が見えなくなってしまう。だから年を重ねて残念なことが多くなっていく事は受け入れながら、残念なことがあると引き受けたいといけない厄のいくつかをこれで捨てられたと思うことにして助けられている。父は穏やかな高僧のような人だった。ひいおばあさんは母方なのに、一緒に住んで大切にし、いつもひいおばあさんに尊敬の念を示していた。ひいおばあさんもまた父に感謝の言葉をいつも言っていた。生きている間にもあれこれうるさく言う父ではなかった。静かで、穏やかな生き様を背中語るような人だった。父は死ぬ間際に、「生きている間は見守るだけだったけど、人は死んでから教えることがあるんだよ。」と不思議な言葉を残して逝った。ひいおばあさんの教えを父は感じて、ひいおばあさんと同じように生きて死んだのだろう。一生懸命生きて、嫌なことも受け入れてその中から楽しくなれる希望を探していくうちにいつの間にか優しい光の中に呼ばれていた、と言うのがひいおばあさんや父の生き様だったような気がする。父やひいおばあさんの姿勢を思いながら、描いてみた。

闘病記（遺稿）

10月1日

全身倦怠感で煩悶

何か書こうと思っただけから数日が経ってしまった。闘病中です、苦闘中です。起立してると左背中の脛節大の痛みが浮上るので横にならざるを得ません。横になれば仕事をできません。横になれば仕事はできない、足は動かない。足が動かなければ心臓の負担が大きくなる。その煩悶の繰り返し。ほかの症状は左胸に木製の四角な貯金箱が入っているようにそれが日に日に増大する。また時折胸の前に打ち上げ花火のように拡散する痛みがパツと飛び散る。この病は他にはこれといった症状もないけれど「全身の倦怠感」が圧倒的な主役かな。恥

ずかしながら20メートル歩いてそこに椅子があれば座り込んでしまおう。50センチ離れたところにある枕電灯を手を伸ばして消そうとするのに時には5分も10分もかかる。ものぐさ太郎もいいところ。夜は逆の現象が。横になって眠ろうとしても背中の痛みで眠れない。痛み止めは日に3回だけだから深夜に2回取ればあとは我慢の一手。これまで悪の限りを筑紫の三郎、生涯の罪科一気に背負ってこの痛みを耐えんとする意気地はあるけれど痛みが変わりはない。岩名雅記よ何処へ行くう??。

10月4日

ドラム回転式のスキヤン

10月4日はX線治療のための身体計測のためルマン市のベルナル病院へ。痛みのためへ口

1967年TBS入社の際
(東京・有栖川公園で)



遺稿「孤独なからだ」のお知らせ

岩名雅記：著／四六判・並製／
発行所：舞踏研究所・白踏館／
定価：2,500円(+税) 国内送料当誌負担

88年渡仏、「爪先立ちの危機感(合田成男)」で人々を魅了、以来日欧米70カ国200都市で舞踏ソロ公演とワークショップを行う。現在の舞踏界にあって稀なる舞踏のオリジナリティを保持しているといわれる著者の最後の舞踏論。

お求めは本誌まで連絡下さい。

巻頭言より

『近代的な「主体」概念は揺らいでいる。おそらく、主体は無名性のなかでしか回復されえないだろう。前近代における民衆の発想(略)によって、近代的な主体意識を撃ちたいという気持ちがあるのはそのためである』(広末保『悪場所の発想』あとがきより／三省堂)

この一文はオレの標榜する「孤独なからだ」と符合する。オレが著名にならない／なれないのはオレの力不足でも努力不足でもなく、オレのからだは著名になることで主体が剥奪されることを知っているからだ。オレのからだはギザギザを取られたがっていないんだジョ。

岩名雅記

へ口になって1時間15分後に到着。うまい具合に5分遅れ

で到着したところへ順番が回ってきた。直径2ミリくらいの緑の光線が飛び交うドラム回転式のスキヤンに収容されて15分ほど、最後は胸の垂線2箇所と体側の計4点に刺青を打たれて終了。これで第1回治療は10月9日と決定。良かったこと。処方箋なしで買える鎮痛剤Dが効かず、この5日ほどは夜通しのたうちまわっていたので同行してくれたスイス人の友人が担当者になじ込んでくれた。Kさんが投稿で述べていたように、フランスの治療技術は高いとはいえず、栄養や鎮痛部門の差配は十分ではない。当初は「私は担当ではないから」

と拒んでいた受付の方も最後は折れて、担当医から新しい鎮痛剤の処方箋を取ってくれた。さて帰宅すると連れ合いがのたまう「この薬はモルヒネ／カフェイン成分込みの330mgだからDの3倍は強烈、不眠、心悸亢進もありうる。若い時にこれと同種の薬を飲んで体力のない自分は何となく倒れたことがあるので要注意」とはいえ飲まないことには状況は変わらないので就寝前に一服飲んだ。結果は——痛みなし／熟睡できた。が、話はこれで終わらない。では定時に一服ずつと8時間おきに飲んだが、昨夜は明らかに心悸亢進に陥った。呼吸吸気も間断なし、そこにコシユマも混じって死ぬん

10月10日

お世話になりました

おととい10月7日はキモセラピー(化学療法)の方針決定のための診断でまたまたルマン市へ。さて、担当医師の決定は『キモセラピーはやらない』でした。現在の僕の体重／体調／体力を鑑みてキモセラをやってもさほど効果がないということです。いわば「見放された」わけです。妻も僕も二つ返事で了承しました。現在の状況は自分たちが一番よく知っているからで

す。一方で何処か安堵しました。弱虫の僕はからだにメスを入れられるのが死ぬほど（苦笑）嫌だからです。虚無の中の充実、不自由の中の自由とでも言えればいいのでしょうか。これからは全てが自由に出来る、あと二つ、中編映画の編集を仕上げ、論集が完成すればボクボクと杖を突く普通の老人の自由をやつと手にいれることができるのです。とは言え、僕がトイレに行っている間に医師は「あと数ヶ月」と妻に言ったそうです。短くて今年いっぱい、長くて来春まででしょう。それでも何故かまるで他人事のようにこの事実を外から眺めている自分がいるのです。あとは皆さんが励ましてくださるように「奇跡」を待つしかないでしょう。でも奇跡ですから当たり前のようにそれがやってきたらそれは奇跡ではありません。問題は怖がりの僕なので「あの瞬間」に上手く向こう岸に渡れるかどうかが大変心配です。フロベールの『聖ジュリアンの殉教』のように光に包まれていけるかどうか？苦しみを抜いていくんだらうなあ。新しい痛み止め

を医師に処方してもらってからはずいぶん楽になりました。昨日は普段の数倍も仕事ができました。妻もますます優しくなりました。薔薇のように。ありがたいことです。もう日本へは99%戻れません。日本の皆さん、お世話になりました。色々な後始末はつけていくつもりです。ヨーロッパの皆さん、お世話様でした。楽しかった、ありがとう。

10月20日 衰え加速度的



名岩の岩床

衰えは加速度的です。明日からは医療用ベッドを自宅に持ち込んで在宅入院、看護師さんも付きます。はてさてこのスピードにオレはついていけるか。まだ仕事のバトンタッチも終わってない。プライベートの引き継ぎはどうなる？

10月23日 息子とのお別れ

午後1時、息子に自宅の病室に来てもらいましたが、息子は病室の土間を上がりません。もうすでに予感していたのか――、息子との間に3メートルの距離があります。構わず、「もうこれからはあえなくなるんだよ。でも必ず見守っているからね」と切り出した。お母さんを大切にすること、金持ちになってもいいけれど必ず弱い立場の人たちの側に立つこと、そして自由な人間であること。

この3つをお父さんから息子への希望として伝えた。こりゃ難しいわ、特に3番目は大人だつて難しい。連れ合いが申し合わせたように僕がいったことを息子にわかりやすく伝えてくれます。でも息子はわかつたんだらうな、途中から眼から涙が弾けだすのがよく見えます。僕も思わず嗚咽して沈黙。妻は気丈に僕らは見守ります。それから息子は自分の部屋に戻り、ひとり泣いたんだらうな。僕もひとりベッドで泣いた。小さな義務

を果たすことが出来たという淡い快感が残りました。（岩名雅記さんが、闘病記として

編集後記 (余録)

本号の14、15頁に最後に寄稿された在仏の独舞家・映画監督の岩名雅記氏が逝かれました。お悔み申し上げます。本誌にはセンチメンタルジャーニーで連載・登場は30回を数えるなど活躍いただいた。5月にパリの日系劇場で追悼公演が行われます。撮影中断の日仏映画二オンのオルゴールも関係者で完成をめざしているとか。本誌掲載の闘病記も表現者として生涯を貫いた生き方を、死に向かう姿を敢えて表現をお願いした次第で、涙を誘うものがあります。

全裸の渋谷の山の手教会、ノルマンデイの自宅での笑顔、監督として俳優を指導する姿など思い出多いものがあります。踊りや映画は分らないが氏の文章は好きというファンも多く殆ど毎号のように連載をお願いしました。それ故に自分の文の表現にもこだわ

送ってくれたのはこの日が最後です）11月11日逝去。

り修正を認めてくれませんでした。死を覚悟して編纂した彼の遺稿集をお読み下さい。次に俗っぽい政治家の話。

政治とは無縁の世界から東京都政に挑む高野氏を紹介しました。同時に今やベテランの辻元清美さんの活躍も原稿にしてもらいました。が、当誌は何方のどの党の方の原稿でも有義と認めれば歓迎します。保守的な方や無党派、無関心の方にこそ書いてもらいたいのが本音ですので紹介も歓迎致します。

今号はインドネシア・ミヤンマーからの初寄稿をいただきました。コロナ禍で苦しむ世相の中、ベニヤンから、心温まる話題も書いていただきました。今回の表紙はこれまでとグッと趣が違ふと感じられた方もいるでしょう。これも新人の方です。カメラ自慢の腕の見せ所を提供する側面もありますのでご参加を。コロナ禍がまだまだ続いていますので、読者の皆さんもお体大切に。

政治を志した原点

東京都江東区

高野

と
勇斗

1. 平和な世界、平和な日本
2. 弱い立場の人々のために
3. 自然との共生

自分自身をもっと磨く必要がある」と心に決めました。

「函館に戻り、心を入れ替えた私に変化が起きました。

今まで意識することがなかった身の回りの事柄やニュースが一転、自分が解決すべき社会問題であると捉えられるようになったのです。私は3歳の時、両親が離婚し母の実家である函館に戻り、母一人子一人の母子家庭として育ちました。高校、大学と進むにつれ、一人親家庭の学生が極端に少なくなりました。そのことが親の経済力がもたらす教育格差を考えるようになり、早稲田大学教育学部進学後に、教育問題について勉強するきっかけとなりました。大



高野勇斗氏

学では田原総一朗氏が塾頭を務める大隈塾ゼミに入り、現役政治家や元首相が毎週ゲストとして訪れ、政治経済を勉強することが多くなりました。また大学時代は、イラク派遣問題から、在日朝鮮人、部落差別、セクシャルマイノリティの当事者と出会い、話を聞くことにより自分の問題と捉えることで、「すべての弱い立場の人、マイノリティのために」という志が加わっていきました。母子家庭で育つことで持った問題意識が敷衍し、弱い人の立場を理解できるようになったと考えています。

就職活動をする中で、25歳で被選挙権を得るまでに経験すべきはどんな仕事が良いだろうかと考えるようになりました。2004年にインターネット広告費がラジオ広告費を抜き、私は「近い将来インターネットにより劇的な変革の時代が来る。選挙でもネットによる活動が中心になるだろう」との思いから、ITベンチャー企業に入社しました。2007年4月に入社し1ヵ月後に、大阪支社の設立を任せられ、顧客リストを作



沖縄・竹富島で高野さん

り、片っ端から電話や営業をした経験は自信になりました。そして2011年より成長著しいインドネシアのジャカルタに赴任し、宗教も文化も民族も異なる国で、初めて自分自身が外国人というマイノリティの立場で生活しビジネスと作り上げていったこと、日本のそれとは比べものにならない貧困や格差を目の

資本主義社会のイノベーション

昨年、コロナウイルスが世界を襲ったことにより「自然との共生」について考えるようになりました。最近では「過去最大級」の台風が毎年来ており、最高気温が各地で観測されています。ウイルスの感染拡大も気候変動も、人間の発展のみを考えるようになつたからだと思えてなりません。公害、気候変動には始まり、コロナウイルスを契機として、私は自然との共生、特に「資本主義」というシステムには早急な対策が必要だと考えるに至りました。世の中にはイノベーションにより社会貢献する製品やサービスが生み出されてきましたが、会社のシステムにはイノベーションが起きていません。それができるのは政治しかないと考えます。

3つの志を実現し、これらを生きる世代にとって住み良い地球でありつづける道筋を示せるよう努力したいと考えています。

立憲民主党

東京都政策委員(江東区)